

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月2日 (2010.4.2)

【公開番号】特開2008-299406(P2008-299406A)

【公開日】平成20年12月11日 (2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2008-049

【出願番号】特願2007-142092(P2007-142092)

【国際特許分類】

G 0 7 D 3/10 (2006.01)

G 0 7 D 3/00 (2006.01)

【F I】

G 0 7 D 3/10

G 0 7 D 3/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月15日 (2010.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機体に投入された硬貨を 1 枚ずつ搬送して識別部により識別し、正常に識別された硬貨を選別部で選別して一時保留するとともに、収納指示に基づいて一時保留硬貨を収納する硬貨入金機において、

前記選別部に設けられ、複数の特定金種以外の硬貨を選別する複数の金種別選別手段と

、

前記金種別選別手段より搬送方向の上流位置に設けられ、前記複数の特定金種のみを任意に選別する任意選別手段と、

前記複数の金種別選別手段に対応して設けられ、前記複数の特定金種以外の硬貨を金種別に収納する複数の金種別収納部と、

前記任意選別手段に対応して設けられ、前記複数の特定金種の硬貨を混合収納する混合収納部と、

前記金種別選別手段および前記任意選別手段にそれぞれ対応して設けられ、選別された硬貨を一時保留するとともに、前記複数の金種別収納部および前記混合収納部へ収納させる複数の一時保留部と

を具備していることを特徴とする硬貨入金機。

【請求項 2】

前記混合収納部は、前記複数の金種別収納部に比べて小形に設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の硬貨入金機。

【請求項 3】

前記複数の特定金種には、1 円硬貨および 5 円硬貨が含まれることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の硬貨入金機。

【請求項 4】

前記複数の特定金種には、旧硬貨および記念硬貨の少なくとも一方が含まれることを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか記載の硬貨入金機。

【請求項 5】

前記機体の下部両側に架台部が設けられ、これら架台部間に前記複数の金種別収納部が

配置され、一側の架台部に混合収納部が配置されている

ことを特徴とする請求項 1 ないし 4 いずれか記載の硬貨入金機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 1 記載の硬貨入金機は、機体に投入された硬貨を 1 枚ずつ搬送して識別部により識別し、正常に識別された硬貨を選別部で選別して一時保留するとともに、収納指示に基づいて一時保留硬貨を収納する硬貨入金機において、前記選別部に設けられ、複数の特定金種以外の硬貨を選別する複数の金種別選別手段と、前記金種別選別手段より搬送方向の上流位置に設けられ、前記複数の特定金種のみを任意に選別する任意選別手段と、前記複数の金種別選別手段に対応して設けられ、前記複数の特定金種以外の硬貨を金種別に収納する複数の金種別収納部と、前記任意選別手段に対応して設けられ、前記複数の特定金種の硬貨を混合収納する混合収納部と、前記金種別選別手段および前記任意選別手段にそれぞれ対応して設けられ、選別された硬貨を一時保留するとともに、前記複数の金種別収納部および前記混合収納部へ収納させる複数の一時保留部とを具備しているものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 1 記載の硬貨入金機によれば、複数の特定金種は、任意選別手段で選別し、一時保留部で混合保留するとともに、混合収納部で混合収納するため、複数の特定金種の一時保留場所および収納場所を 1 つにまとめることができ、機体内でのスペース効率が向上して小形化あるいは大容量化でき、また、複数の特定金種以外の硬貨は、複数の金種別選別手段で選別するため、構成を簡素化でき、コストを低減できる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

硬貨選別通路53には、搬送方向の上流側から下流側に向けて順に、この硬貨選別通路53に搬送してくる硬貨を検知するタイミングセンサ65、識別部63での識別結果およびタイミングセンサ65の検知に基づいてリジェクト硬貨を電氣的駆動によって強制的に選別するリジェクト選別手段66、識別部63での識別結果およびタイミングセンサ65の検知に基づいて特定金種としての 1 円および 5 円硬貨を電氣的駆動によって強制的に選別する任意選別手段67、特定金種以外の硬貨である 50 円、100 円、10 円および 500 円硬貨を硬貨径に応じて選別する金種別選別手段としての金種別選別孔68がそれぞれ形成されている。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

11 機体

12 架台部

36	混合収納部
37	金種別収納部
53	選別部としての硬貨選別通路
63	識別部
67	任意選別手段
68	<u>金種別選別手段としての金種別選別孔</u>
81	一時保留部